

夢をえがこう 自分をえがこう 嶮山あったか ハーモニー

# 嶮山小通信

ホームページアドレス <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kenzan/>

横浜市立嶮山小学校

TEL:902-7161,7162

FAX: 904-4254

令和4年10月31日

11月号

校長 河合 智樹



## 子どもたちの想い

校長 河合 智樹

運動会では、保護者の皆様にご参観いただきありがとうございました。

本校の運動会の演技は、成長段階に合わせて異学年間で教え合って進めてきました。その活動を通して、ある教員は子どもたちの変容に気が付いたそうです。

教え合って最初のうち、子どもたちは「〇〇年生がこの動きを覚えてくれました。」という表現をしていたようですが、練習を重ねるごとに自然にお互いの名前を覚えて、〇〇年生という表現ではなく、「〇〇さんがこの動きを完成させてくれました。」と名前を覚えた言い方で表現をするようになったそうです。

運動会で、「赤組、白組がんばれ。」だけでなく、「〇〇さん、がんばれ!」と名前を呼んで応援する姿は、私たちが目指している「嶮山小あったかハーモニー」の成果と言えると思います。

さて、運動会が終わり、子どもたちは次のめあてに向かっていきます。前期の終わり、そして後期始まりの際に、自分がこれからがんばりたいことを発表してくれた児童の言葉の一部を紹介いたします。

私は4年生になって初めてたてわりでペア学年を見る側になりました。たてわりを通して下の学年を責任もって見てあげられる優しさを知りました。学年目標の「4友」をたてわりだけでなく、友達が大変そうなときに助けてあげられました。「4友」は相手意識をもって行動しようという4年生の目標です。今までは、友達を助けたり声をかけたりすることが苦手でした。でも、4年生になってたてわりのペアができたので、クラスも引っ張っていききたいと思い挑戦しました。3年生の時にできなかった声かけをたてわりの2年生にすることができました。「大丈夫?」と言ってあげられたらペアの子が「ありがとう。」と言ってくれて仲良くなれたのでうれしくなりました。後期では、自分だけでなく全体で高め合っていきたいです。私はみんなのために動いていきたいし、自分のクラスだけでなく学年で「4友」を目指していきたいです。そのためには、自分の意見だけではなく、友達の意見を聞いて協力していきたいです。「4友」で相手意識をもって4年生全員でカッコいい5年生になって高学年として胸を張れるようにしたいです。

私は、最初自分から友達に声をかけるのが苦手でした。2年生になったころ自分から声がかけれないことが恥ずかしくなり、友達に声をかけてみました。だけど、声が震えてうまくは話せませんでした。「ああ、もう自分はダメだ」と思ってしまいました。3年生になって新しいクラスで友達が声を震わせながらも私に頑張っって声をかけてくれました。その姿を見て私も頑張ろうと思いました。私は頑張っって友達に声をかけることができました。そのことがあり、今ではたくさん友達に声をかけることが大の得意になり、友達と遊ぶことや話すことが大好きになりました。後期は、違う学年にも話してもっとみんなと仲を深めたいと思いました。

子どもたちの育ちを引き続き教職員一同でサポートしていきます!